



宗像の海の「共感の輪」で広がるブルーカーボン 県内初！Jブルークレジット認証取得

宗像市と宗像漁業協同組合が設立した「宗像ブルーカーボン推進協議会」と「福岡ブルーカーボン推進協議会」は、「世界遺産を有する宗像藻場再生プロジェクト」において、令和7年3月12日、県内で初めてJブルークレジット認証（※1）を取得しました。

両協議会は、近年、磯焼けの進行がみられる藻場を再生し、持続可能な漁業と脱炭素社会を実現するため、令和4年からブルーカーボン（※2）の活用調査や検討を進めてきました。

本プロジェクトでは、地元漁業者によるウニの駆除活動を通じて維持・保全されたワカメなどの海藻をブルーカーボンとして活用し、気候変動対策につなげる取組みを行っています。また、地元小中学生とともに海洋学習を実施し、海藻の取り付けによる藻場の創出にも取り組んでいます。

今後は、Jブルークレジットの販売によって得られた資金を活用し、駆除活動の充実、子どもたちの海洋学習の継続、漁業振興に努めてまいります。

Jブルークレジット認証の取得にあたり、プロジェクトに関する発表会、交付式、報告を以下のとおり行います。

【令和6年度 第2回福岡県ブルーカーボン推進協議会（報告会）概要】

日時：3月14日（金）14時～

場所：福岡県水産会館5階 大研修室（福岡市中央区舞鶴2丁目4-19）

※事例報告の一つとして本プロジェクトの報告を行います

【Jブルークレジット発行証書交付式 概要】

日時：3月19日（水）10時～17時

場所：笹川平和財団ビル11階 国際会議場（東京都港区虎ノ門1-15-16）

【その他】

3月26日（水）開催の市定例記者発表にて、認証に関する報告を予定しています

《用語解説》

※1 Jブルークレジット：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）が、独立した第三者委員会による審査・意見を経て認証・発行・管理する独自のクレジット。

※2 ブルーカーボン：2009年10月に国連環境計画（UNEP）の報告書で、藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素を「ブルーカーボン」と命名。CO₂吸収源対策の新たな選択肢として提示された。



《漁業者と小中学生による藻場増殖試験》



《漁師によるウニ駆除活動》

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市脱炭素社会推進課 担当：前田、愛月 TEL：0940-36-9875